

BRAINS 2025 年 10 月薬剤マスタ等ファイル更新作業手順（操作方法）

今回のファイルは「マスタ更新とプログラム更新」（更新種類 3）（4 ページ目参照）です。

更新前には端末の再起動、セキュリティソフトの停止をお願いいたします。

なお、一度更新作業を始めたら**全台更新完了するまで BRAINS は使用できません。**

操作の流れ

【操作①】 医療機関内のインターネット接続が可能な端末 1 台で「BRAINS ファイル更新ダウンロード」を使って必要なファイルをサーバーに保存します。

【操作②】 「BRAINS ファイル更新」を使用して更新を行います。

※※ 【操作①】 が終わってから 【操作②】 を実行して下さい ※※

【操作①】 BRAINS 更新ファイルのダウンロード

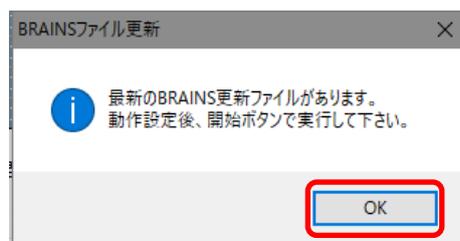
2024 年 12 月 20 日に FAX でお送りしている、「BRAINS 更新ファイルダウンロード方法について」の資料の手順をご確認ください。

【操作②】【BRAINS202406】から「BRAINS ファイル更新」を実行します。

1. はスタートボタンから【BRAINS202406】を選んで、

 をクリックして下さい。

2. 【操作①】の操作が終了していると各端末に右図のお知らせが起動しますので OK ボタンをクリックします。



3. 右図の画面が起動します。（図 1）

2025 年 8 月の更新が完了しているので

2025 年 10 月の更新が「**未**」で起動します。



下記のように設定してください。

【データベースの更新処理】

このコンピュータで実行 しない

※（データベースの更新なし）選択できません。

【マスタ更新処理】

このコンピュータで実行 する

※Excelでのマスタ更新をする端末のみ（する）

Excelを実行しない端末は （しない）

【更新完了後の処理】

このコンピュータを 何もしない

※サーバーは何もしない それ以外の端末は状況に合わせて下さい。



【マスタ更新についての注意】

① Excelが入っていない場合、下図のように表示されマスタ更新処理ができません。



⇒【マスタ更新処理】

必ず EXCEL が入っている端末 1 台でマスタ更新「 する」のチェックで実行してください。

Excel のマスタ更新については、時間が掛かる場合があります。

マスタ更新が完了するまで、BRAINS 全台使用できません。

BRAINS ファイル更新は、マスタ更新処理「 しない」の設定で他の端末は実施可能です。

マスタ更新をクライアントで行う際、下図のように更新画面左上に【M16】と記載がある場合には更新前にサーバーの DBMAN の起動が必要です。【オラクル】の場合は必要ありません。



4. 設定を確認し、 ボタンを押します。

右図のような確認画面が出ます。

設定内容が 3 の手順で設定した内容か確認して「はい」をクリックして下さい。



【データベースの更新処理】 しない（データベース更新なし）

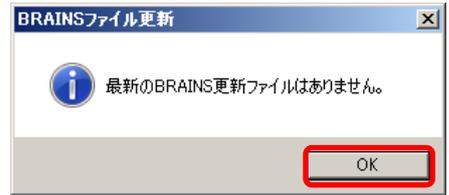
【マスタ更新処理】 する ※設定によります。

【更新完了後の処理】 何もしない ※設定によります。

※ 設定を誤った場合、（シャットダウンするつもりがないのにシャットダウンを選択してしまったなど）前の手順に戻る場合は「いいえ」をクリックして下さい。
3 の手順（図 1）に戻ります。

5. 更新が開始されます。

6. 更新完了後「○何もしない」を選択した場合は、更新終了後に右図が表示されますので【OK】をクリックしてください。



※ログイン画面が出続けている場合はログインしてください。

(ログイン画面で右図の更新完了メッセージが隠れている場合があります。)

最初の画面に戻りますので、画面右下の「終了」  ボタンをクリックして終了です。

以上の【操作②】を全ての端末で実施してください。

【実施に関して】更新の種類

ファイル更新は4種類あります。

1. マスタ更新(EXCELを使用する更新含む)

⇒ 医療機関で1回(1台)のみの実行【操作①】+【操作②】

※ Excelが入っている端末でマスタ更新設定を「する」にして実行

⇒ 条件：全台 BRAINS 稼働不可

サーバー以外の全ての DBMAN が閉じていること(終了していること)

2. ファイル(プログラム)更新

⇒ 【操作①】を1台 【操作②】を全ての端末で実行

更新完了後の処理のみ設定して実行

⇒ 条件：操作端末の BRAINS 稼働不可

(注意) 全ての端末更新が全て完了するまで BRAINS は使用できない場合があります。

CD 同封のお知らせを確認して下さい

3. マスタ更新とプログラム更新(EXCELを使用する更新含む)

⇒ 【操作①】を1台 【操作②】を全ての端末で実行

1台のみ(Excelが入っている端末)でマスタ更新設定を「する」にして実行

⇒ 条件：マスタ更新中は全台 BRAINS 稼働不可

サーバー以外の全ての DBMAN が閉じていること(終了していること)かつ 全ての端末更新が全て完了するまで BRAINS は使用できません。

4. 法改正(2年に1回 診療報酬改定の年の3月)

⇒ 【操作①】を1台 【操作②】を全ての端末で実行

【操作②】「データベースの更新処理」の設定を1台のみ(M16サーバー又はOracleクライアント)

で実行「データベースの更新処理」完了後に、その他の端末で【操作②】を実行

【操作②】1台のみ(Excelが入っている端末)でマスタ更新設定を「する」にして実行

⇒ 条件：全台 BRAINS 稼働不可

サーバー以外の全ての DBMAN が閉じていること(終了していること)

かつ全ての端末更新が全て完了するまで BRAINS は使用できません。

~~~~~  
~

【BRAINS ファイル更新のタイトル】

M16(サーバー、クライアント)を【BRAINS ファイル更新】のタイトルバーに表示

M16(サーバー)



M16(クライアント)



オ ラ ク ル



## 【操作に関する Q&A】

### Q1. データベースの更新処理とは

A1. [データベースの更新処理] は、法改正時のファイル更新です。(2年に1回のみの実行です。) 4月からのマスタを設定する時のみ、有効となります。

法改正時でない場合、または法改正時でも他の端末で実行済みの場合、以下のように無効となります。(選択できない状態です。)

データベースの更新処理  
このコンピュータで実行  する  しない (データベース更新なし)

データベースの更新処理  
このコンピュータで実行  する  しない (実行済み)

※ 法改正以外は  しない (データベース更新なし) になっています。

### Q2. マスタ更新処理とは

A2. [マスタ更新処理] は、マスタ (薬剤・病名) 更新です。

マスタ (薬剤・病名) 更新があるファイル更新の場合、有効となります。

マスタ更新がない場合、またマスタ更新ありでも他の端末で実行済みの場合など、以下のように無効となります。(選択できない状態です。)

マスタ更新処理  
このコンピュータで実行  する  しない (マスタ更新なし)

マスタ更新処理  
このコンピュータで実行  する  しない (実行済み)

マスタ更新処理  
このコンピュータで実行  する  しない (officeなし)

※ [データベースの更新処理] がある場合で終わっていない場合も無効となります。

マスタ更新処理  
このコンピュータで実行  する  しない (データベース更新未実施)

### Q3. 更新完了後の処理とは

A3. [更新完了後の処理] は、作業完了後の端末の状態の選択です。

※ 「何もしない」しか選択できない端末は M16 サーバーです。

更新完了後の処理  
このコンピュータを  シャットダウン  再起動  何もしない

シャットダウンを選択すると、更新完了後、端末の電源を落とします。

再起動を選択すると 更新完了後 端末を再起動します。Windows のログイン画面になります。

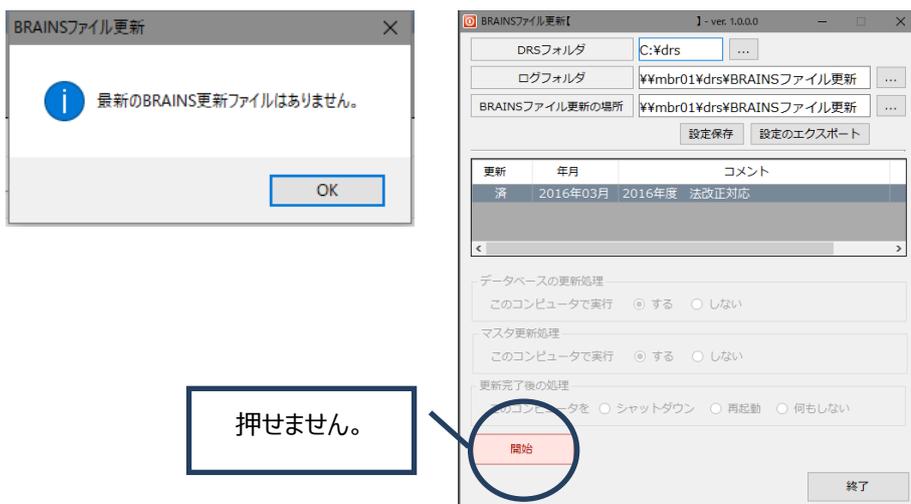
何もしないを選択すると 更新完了後、BRAINS ファイル更新の画面に戻ります。

(M16) サーバーは全ての端末が更新完了後に、毎日の業務終了と同様に処理して下さい。

#### Q4. BRAINS ファイル更新を誤って起動してしまったら

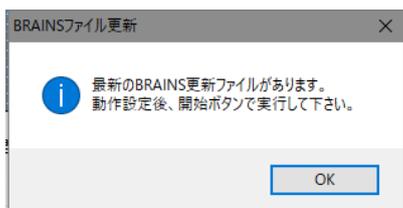
A4. すべて実施済みの場合、ダイアログを表示し実行不可をお知らせします。

OK をクリック後、起動した BRAINS ファイル更新の終了ボタンで閉じて下さい。



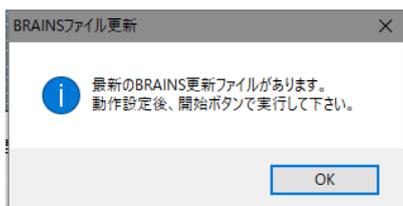
#### Q5. BRAINS ファイル更新は同時に実施可能ですか

A5. 可能です。下記のメッセージが出現したら OK を押して下さい。



#### Q6. BRAINS ファイル更新を起動しても下記のメッセージが出ません。

A6. 弊社にお問い合わせ下さい。



#### Q7. ファイル更新に失敗した場合は？

[更新完了後の処理] をシャットダウンにしていたのに電源が切れていないなど

A7. LOG 画面を表示しています。弊社にお知らせ下さい。

#### Q8. ウィルス対策ソフトについて

A8. 従来の CD 更新作業同様に、今回の更新【操作①】【操作②】作業の際には停止して下さい。